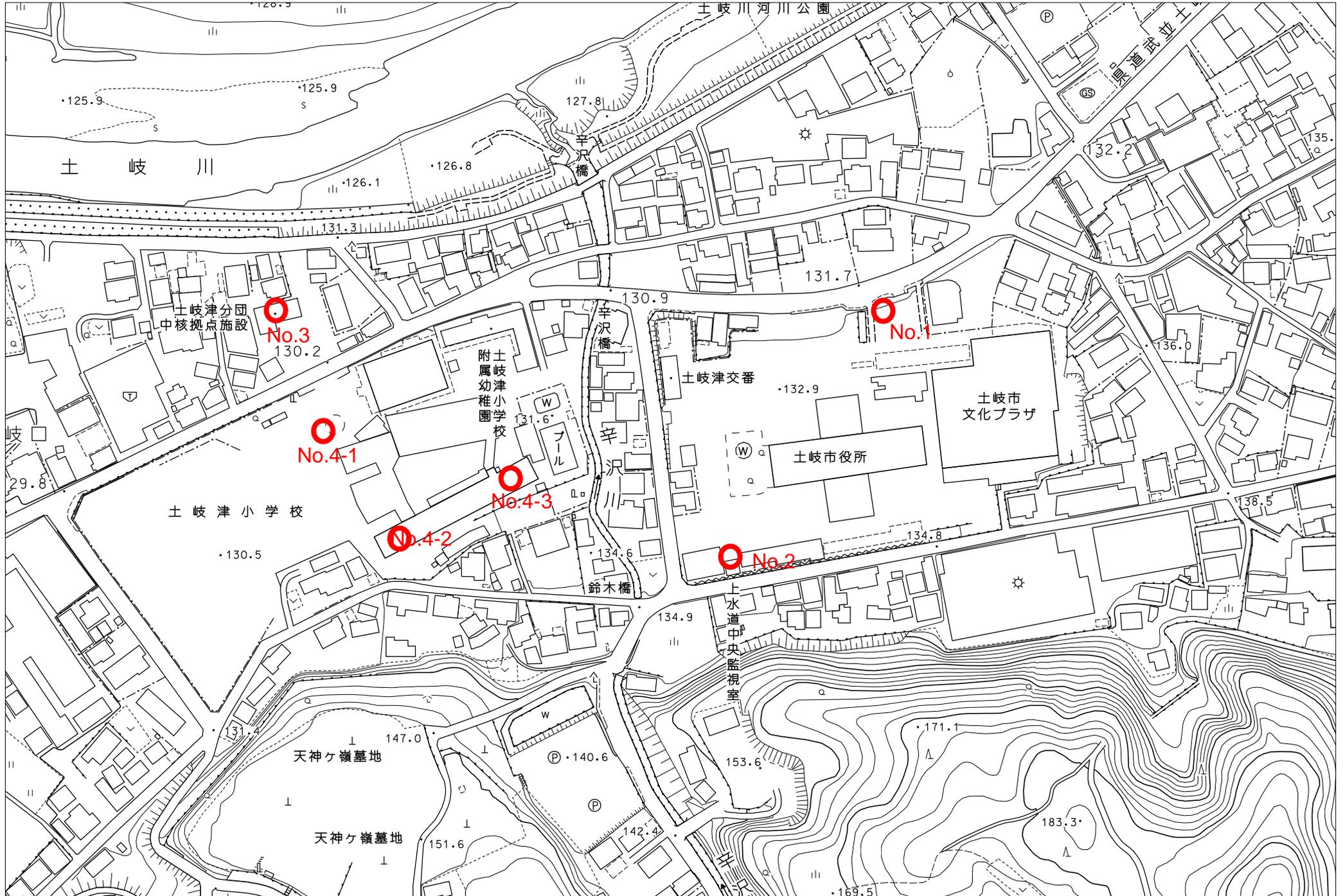


縮尺 1 : 2 5 0 0

# 地質調査位置図



地質柱状図 (NO. 5)

土岐市新線管架布設工事地質調査

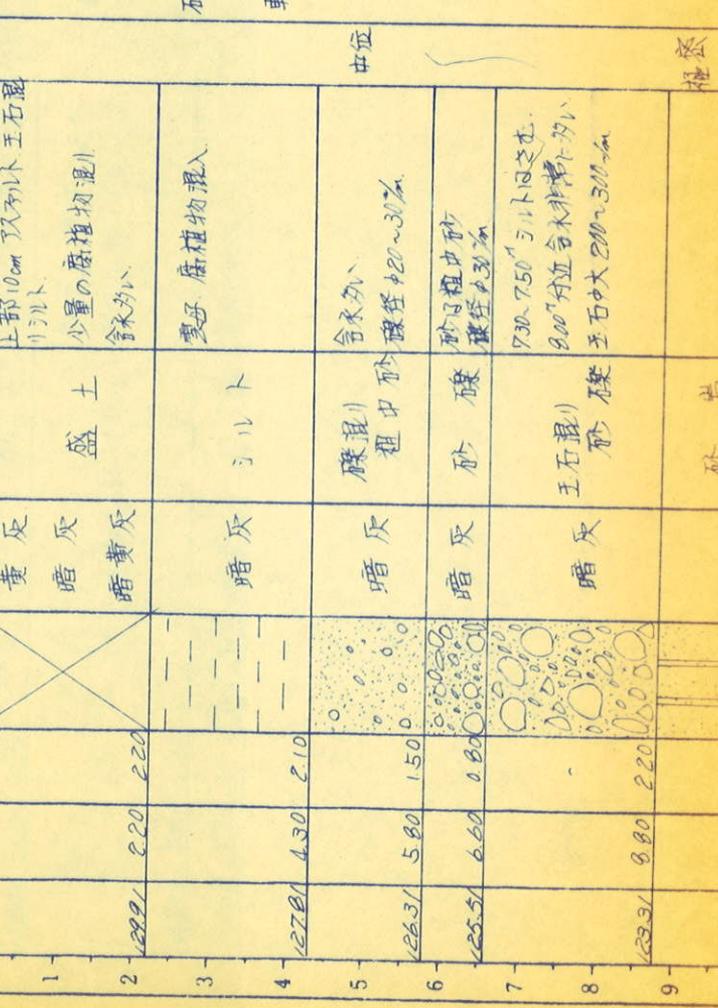
調査地 土岐市土政建設地内

調査年月日 昭和 49年 10月 19日 ~ 49年 10月 20日

標高 132.11 M 孔内水位 - 1.20 M

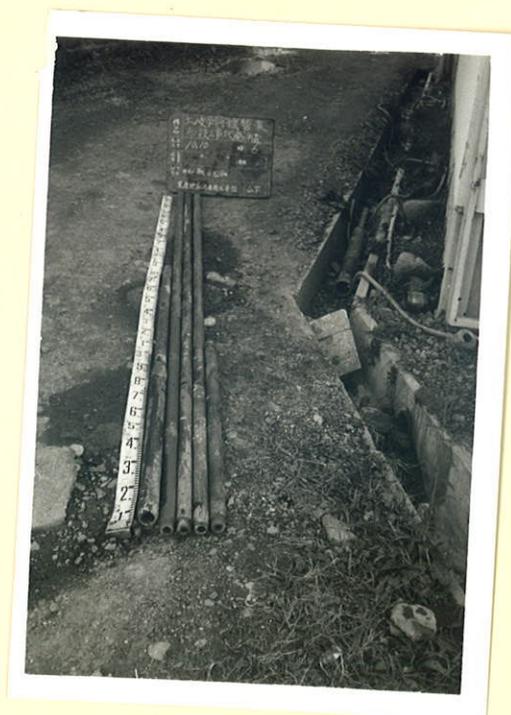
技術者 山下孝雄

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相對密度	相對稠度	現位置試驗深度 m	標準貫入試驗				試料		尺 m		
											深度 m	N 值 回/cm	10cm 毎の 打撃回数 10 20 30 cm	N 值	採方	採取深度 m			
1																			
2	129.91	2.20	2.20	X	黄灰 暗黄灰	盛土 シルト	上部 10cm 以下シルト 少量の腐植物混入 含灰なし	3/35 9/40	2/5	2/5	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3																			
4	127.81	4.30	2.10		暗灰	シルト	雲母 腐植物混入	10/30	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5																			
6	126.31	5.80	1.50		暗灰	礫混り 粗中砂	含灰なし 礫径 20~30mm	15/30	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	125.51	6.60	0.80		暗灰	砂	砂混り 礫径 20mm	23/30	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
8																			
9	123.31	8.80	2.20		暗灰	玉石混り 砂	70~75mm シルト同様に 800分並合水砕礫 7~9mm 玉石中粒 200~300mm	18/30	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
10	121.81	10.25	1.45			砂		22/30	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10





NO 5



NO 6

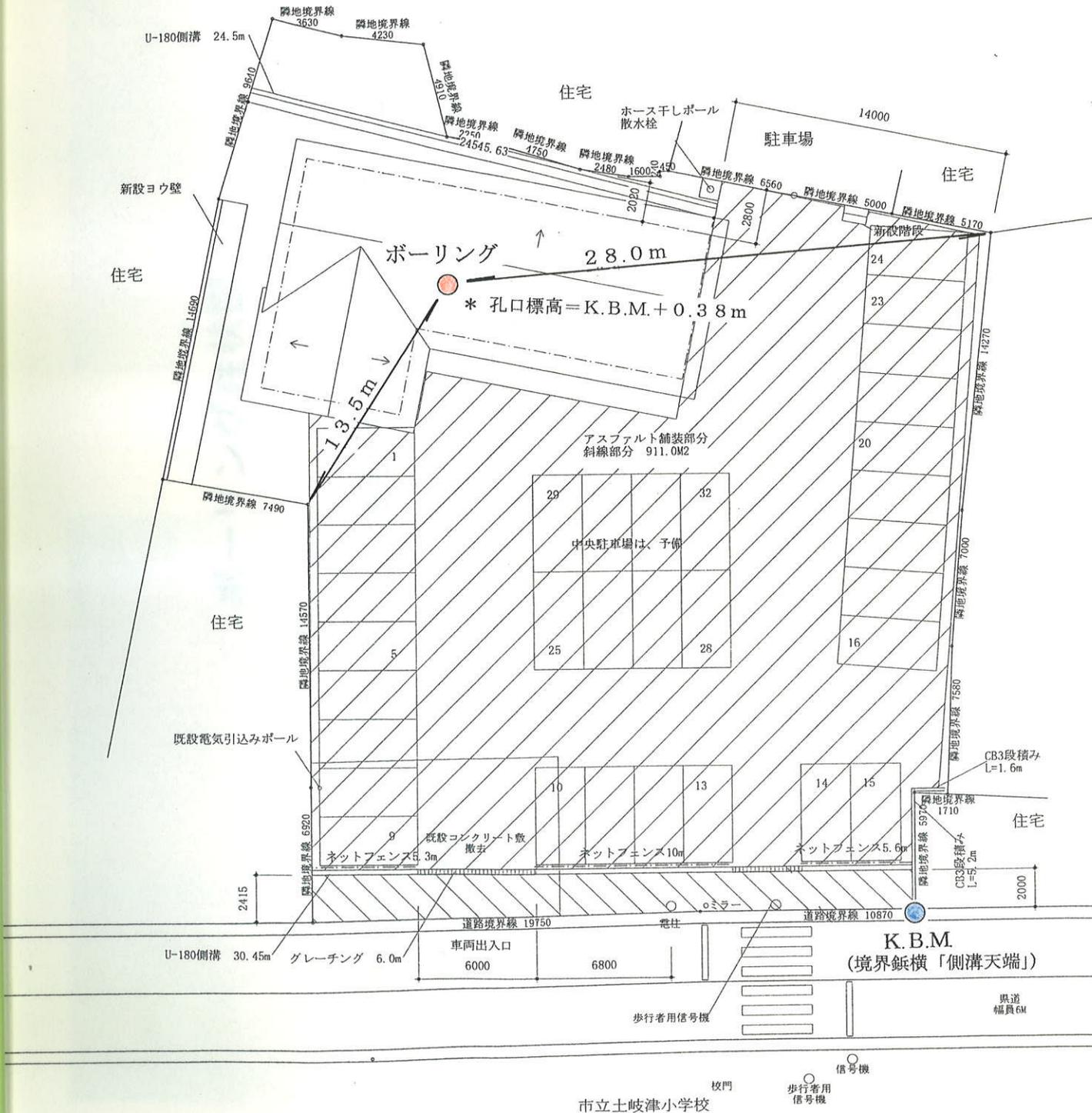




# 調査地点位置図

No.3

S=1:300



# ボーリング柱状図

調査名 土岐津分団中核拠点施設建築工事 地質調査

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 事業・工事名

ボーリング名	NO. 1		調査位置		土岐市土岐津町土岐口 地内		北緯	
発注機関	土岐市		調査期間		平成 18年 8月 9日 ~ 18年 8月 9日		東経	
調査業者名	(有) ナガセボーリング		現場代理人		アコ鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.38m	方位	北 0°	試験錐機	カノー KR-SH2		ハンマー落下用具	
総掘進長	10.09m	角度	上 180° 下 0°	エンジン	ヤンマー NF-90		ポンプ	
		地盤勾配	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°	使用機種	ポンプ		フシサワ F P - 5 B	
		鉛直 90°						

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			位置試験		試験採取		掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	試験名	試験結果	試験番号	採取方法	
1				盛土	茶褐色			粘土混じり砂礫~礫混じり粘土による盛土。表層部は非常に密実である。混在する最大礫径はφ300mm程度。		1.15	8	27					
2										1.45		5					
3	3.20	-2.82		粘土質砂	暗茶	中くらい		φ2~30mm程度の礫を主体とするマトリックスは粘性を帯びた砂。含水は低位。		2.15	2	30					
4	0.40	-3.22		細砂	暗褐色			砂粒径はほぼ均一なるものの、少量の粗中砂を混じえる。		2.45	1	25					
5	0.60	-3.82		玉石混じり粘土質砂礫	黄褐色	密な		φ2~40mm程度の礫を主体とし、所々φ50~200mm程度の玉石を混じえる。玉石は硬質である。		3.15	7	30					
6	1.60	-5.42			淡茶			マトリックスは粘性を帯びた細~粗砂。含水は中位。		3.45	3	28					
7										4.15	12	30					
8				凝灰質砂岩	黒灰			固結した細~中砂。ボーリングコアは10~50mmの棒状で、50~60%程度採取される。岩質は脆弱で、採取されたコアはハンマーママーで容易に砕ける。孔壁は非常に安定し、地層内への洗水も認められない。		4.45	10	31					
9										5.15	32	19					
10										5.45	30	16					
										6.15	6	113					
										6.31	32	9					
										7.00	35	16					
										7.19	45	12					
										8.00	60	9					
										8.16	14	2					
										9.00	60	12					
										9.12	60	9					
										10.00	60	9					
										10.09	60	9					

県道武並・土岐・多治見線

土岐津小付属幼稚園

既設体育館

# 第 2 図

## 調査位置平面図

NO.1

花たん

3.0m

S = 1/500

既設校舎

新設校舎

既設校舎

プール

土岐津小学校

既設校舎

既設校舎

プール

NO.3

新設校舎

10.0m

NO.2

10.0m

民家

民家

⊕ ..... ボーリング位置

件名	土岐津小学校校舎地質調査	第	図	図面名称	調査位置平面図	縮尺	S=1/500	単位	図面完成	57年 6月 日	製図	備考	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
----	--------------	---	---	------	---------	----	---------	----	------	----------	----	----	-----------------

# 第 Ⅱ 土 質 柱 状 図

調査名 土政津小学校校舎地質調査

ボーリング方法 ローター式

地点番号 No. 1

調査年月日 57年 5月 29日 ~ 月 日

標高 +130.07 m

孔内水位 GL-3.00 m

担当者名 (能沢)

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	コンシステンシー 相対密度及び	記 事	標準貫入試験									
										深度 (m)	N 値	10cm 毎の 打撃回数	(N 値)						
0	130.00 129.77	0.05 0.30	0.05 0.25	○		アスファルト右 敷	暗灰												
1						砂質粘土	暗褐	軟	5%内外の小礫混入 砂は微砂	3	1	1	1						
2						粗砂	暗褐	極軟	2~5%の小礫混入 礫径2~5%最大+200%附 砂は粗砂	1	1/30								
3	127.27	2.80	2.50	○		粗砂	暗褐	中位	4.80m付近で漏水する	11	3	4	4						
4	126.47	3.60	0.80	○		玉石状砂礫	暗褐	極密		50	18	23	8						
5	125.07	5.00	1.40	○		砂	暗褐	密		43	8	12	23						
6	123.92	6.15	1.15	○		砂	暗褐	極密		50	10	50							
7																			
8																			
9																			
10																			

第 Ⅱ 土質柱状図

備考

調査名 土岐津小学校校舎地質調査

ボーリング方法 ローター式

地点番号 No. 2

調査年月日 57年 5月 29日 ~ 月 日

標高 +130.34 m

孔内水位 GL-1.80 m 担当者名 (熊沢)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	相対密度及びコンシステンシー	記事	標準貫入試験		
										深度 (m)	N 値 回/30cm	10cm 毎の 打撃回数 10/20/30 cm/cm
0	130.04	0.30	0.30	斜線		シルト質砂	白灰					
1				縦線		褐灰	軟					
2				斜線		灰	極軟		砂は微砂 φ10%内外の小礫を 少量混入			
3				縦線								
4	126.64	3.70	3.40	点		砂質粘土 淡青灰	中位					
5	125.54	4.80	1.10	点		粗砂 淡灰	中位					
6	124.54	5.60	0.80	点		砂 淡灰	極密					
	124.54	5.80	0.20	点		玉石状砂礫 淡青灰						
7	123.64	6.70	0.90	点		砂 緑青灰	極密					
8	123.04	7.30	0.60	点		砂 緑青灰	極密					
9												
10												

第 四 土 質 柱 状 図

備考

調査名 土岐津小学校校舎令地質調査

ボーリング方法 ロ-タリー式

地点番号 No. 3

標高 +130.73 m

調査年月日 57年 5月 28日 ~ 月 日

孔内水位 GL-1.20 m

担当者名 (熊沢)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	相対密度及びコンシステンシー	記事	標準貫入試験			
										深度 (m)	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数 cm 20 30 cm 1cm	
0	130.43	0.30	0.30	ミルト質砂		白灰	極軟			1	1/30		
1	130.13	0.60	0.30	粘土状砂礫		褐	軟	砂は微砂 2M付近10~20%内外 の礫混入する		3	1/15	2/15	
2						淡青灰	軟						
3							極軟	腐植物混入		1	1/30		
4	126.93	3.80	3.20	砂質粘土		暗灰	中位	礫径2~30% 砂は細中砂 所々φ50~60%内外の 礫混入		12	2	3	7
5							細			9	4	3	2
6	125.13	5.60	1.80	砂		暗	極密	5~5.6M 全体に粘土分含む			不入		
7	123.93	6.80	1.20	玉石状砂礫		淡青灰	極密	φ最大350~400%内外 の玉石混入		50/27	12	17	2/7
8	123.28	7.45	0.65	砂		岩 緑青灰	極密						
9													
10													